

## 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム きよたⅡ 2階	評価実施年月日	平成21年7月15日
評価実施構成員氏名	高嶋 淑美      木村 博美      伊藤 育子      梅田 愛美      三浦 美結 相馬 真喜      豊岡 恵子      西島 浦      黒田 裕也		
記録者氏名	黒田 裕也	記録年月日	平成21年8月5日

北 海 道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	○	常にそのひとらしくということを考え、職員が満足しないように心掛けていきたいと思います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	○	ホーム会議の際に理念の再確認をして連携の強化に努めています。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	○	ホームページにてホーム内の活動などの紹介
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	○	近くにある小学校や保育園ともっと交流する機会を持っていきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	○	毎年、町内の方を招いての焼肉パーティーを行っています。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	○	これからも地域の方に伝えていける機会を考えていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	より良いケアが出来る様に、職員全員で1年に1度自己評価に取り組んでいます。外部評価で見えてきた問題点を真摯に受け止め、話し合い、改善し、取り組んでいきたいと思っています。	○	自己評価を通して自己覚知の場となっています。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。	地域の方、地域包括支援センターの方を交え、家族の方の想いを聞いたり、ホームの1ヶ月の様子を伝えたりコミュニケーションの場となっています。その場で出た内容はホーム会議などでも取り上げ、サービス向上に活かすように心掛けています。	○	毎回出席しているご家族以外の方にも参加できるように呼びかけをしていきたいと思っています。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	清田区の担当者とはその都度、運営上疑問やわからないことを聞き、適切な助言とアドバイスを頂いています。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	講演会、勉強会などに積極的に参加し、知識を深めていきたいと思っています。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ホーム会議で高齢者の虐待について資料を読んだり、職員各自に自分が虐待だと思ふことを書き出してもらったりして、話し合う機会を設けています。	○	職員全員で出した「してはいけないリスト」の厳守に努めていきたいと思っています。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約や解約をするにあたり、十分に話し合う機会を設けて納得がいくように配慮しています。また出てきた意見はケアに反映させてサービス向上に努めています。	○	これからもご家族からの意見は真摯に受け止めサービスの向上に努めていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者さんからの苦情や訴え、また自分から言えない方に対しては表情や仕草で感じ取ってスタッフで話し合い運営に反映させています。	○	現状のケアに満足することなく、入居者さんの声を大事にしてケアに努めたいと思います。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月きよめ一という写真付で行事や日常の様子コメントの入った手紙とホームでの出来事、運営上の連絡事項を手書きで書いた手紙の2通を郵送しています。	○	健康状態や検査結果などは直接併設病院の院長と話をするようにしています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に苦情などを書いて入れるBOXを設置しています。また、普段から御家族とのコミュニケーションを大事にして気軽に要望を言えるような雰囲気作りを心掛けています。	○	ご家族から意見、不満、苦情があれば管理者へ報告し、後日ホーム会議で話し合っその結果を家族へお答できるような体制をとっています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営者と管理者の「運営会議」と管理者と職員の「ホーム会議」が月2回ずつ行われており、ホーム会議で職員から挙げた意見は話し合い後、運営会議に挙げられ反映するようにしている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	24時間体制で入居者さんの日中と夜間の様子を見守りし、状況に合わせた対応をしています。日中の状況がわかるスタッフが夜勤を行うため日中にいたスタッフとの連携がスムーズにとれています。	○	入居者さんの状況に合わせて勤務時間帯の話し合いをし、過去に早番と運番の時間を早めたりしています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	2ユニット18名のスタッフで対応しているためスタッフ全員と顔馴染みの関係を築けています。18通りの意見が出るので色々な対応が出来、離職の際は1ヶ月の交代期間を設けて利用者への負担の軽減に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎週木曜に行う「勉強会」では医療や介護、時には他分野をテーマにビデオを見たり、ディスカッションをしたりして知識を高めています。月1回のレポート提出は当院HPのブログを利用して参考資料を読んで感想を書き込んで考える場となっています。また、新たに新スタッフには3か月の試用期間中、メンソットを用いて統一したケアを行うためにチェックをしながらより良いケアを目指して取り組んでいます。</p>	○	<p>新スタッフにはメンソットを使用して3か月で統一したケアを行えるようにチェック項目に沿っての育成に努めています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>清田区内のグループホームの集まりが年に何度かあり、各ホームの抱えている悩みや困っていることなどを話したりする機会があります。よい情報交換の場となっております。恒例となってきたグループホーム交流会では同業者の他に他のホームの入居者との交流もあるのでとても良い時間を過ごさせています。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>管理者や介護主任が通常の業務に入っているのでコミュニケーションを取ったり、人間関係の把握に努めています。全スタッフから集めているスタッフ会費を使って、年に数回、ストレスの軽減を目的に親睦会を催しています。</p>	○	<p>管理者、介護主任、計画作成者が通常の業務に入ることによってスタッフ間の変化などに気付けるように努力しています。年数回の親睦会も職場から離れ気分転換の機会となっています。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>各スタッフに担当があり、抱え込んでしまわないように分担している。運営者に実績や努力している様子を伝える機会があるので向上心を失わずに働く配慮があると思います。</p>	○	<p>年度ごとに担当を変更したりして個々のスタッフが負担を少なく得意分野の長所を伸ばせるように配慮しています。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>申し込みの段階でホームを見学して全体の雰囲気を見て頂くことが多いです。そして入居前には必ずご本人と面談し、不安や困っていることを聞き、共有するよう配慮しています。口に出さない言葉では伝えられない部分も表情から読み取る努力をしています。</p>	○	<p>入居してから想像と違ったとならないようにまず、見学をしてホームの雰囲気を見ていただくようにしています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>面接の際に、今までの介護の経過を伺い、苦労したことや現在のサービスの利用状況など話をじっくり聞き、ホームで可能なことを伝えたり、ホームの様子、スタッフの介護に対する姿勢など見てもらい信頼関係作りに努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けた際、話の内容から早急に対応が必要な場合は出来る限り柔軟に対応します。他のサービス利用が必要であれば改善のご提案をします。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用前は本人、ご家族に見学に来て頂いて全体の雰囲気を覚えてもらったりホームでの生活の状態を説明しています。入院中など見学なしですぐ入居を希望される場合はスタッフが外向き面接させて頂いています。病院からすぐ入居された場合などは家に帰れると思っている方も多いのでご家族または顔なじみの方に訪問して頂き、安心感を持てるように配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	会話をしながら調理をしたり、入浴したり1対1で過ごしたりもしています。女性の入居者が多いので料理のコツはいろんな方から話を聞くことが出来、勉強になっています。	○	普段の関わりの中から入居者さんの求めるニーズを考え、生きがいの持てる支援を心掛けています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	運営推進会議を利用してご家族とのつながりを深め、少しでも思いを共有出来るように努めています。また、普段ホームに来られた際も気軽に話しやすい雰囲気作りを目指しています。	○	年に数回ご家族参加型の行事を企画して喜怒哀楽を共有出来るように努力しています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族へは普段の様子を伝えたり、ご家族からは本人への思いを受け止め、家族の役目を果たせるような関係作りに努めています。	○	不定期にキーパーソン以外のご家族がいらしたときも同様の情報交換が出来るように努めています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居前の友人の方や老人会、デイケアサービス利用時の知り合いとの交流を現在も取られています。老人会に参加したり電話で話したり、ホームへ来訪して下さったり方法は様々ですが外部との交流が途切れないようにしています。	○	便箋を買ってご家族やお友達にお手紙を出したりもしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	認知症の症状が同じではないのでスタッフが輪に入った状態でスタッフ対利用者、または利用者同士で関係が円滑に持てるように努めています。認知症が進んで利用者の輪にいることが困難な方にはスタッフが寄り添って安心して孤立を感じないように心掛けています。	○	集団生活に馴染めない方も中にはいるので状況に合わせて個別の対応も心がけています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービスが終了されたあとも電話をして下さったり、こちらから連絡したり、相談に乗ったりと継続的な関わりを心掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の言葉を大切にし、言葉にできない思いは表情などから読み取り把握できるように努めています。	○	感情を言葉にできない方には特に表情やちょっとしたサインを見落とさないように努力しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴や普段の会話、御家族との会話やセンター方式のアセスメントを通して把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一日の生活の様子を記録に残し、体調などの変化、精神的な変化に気付けるように心掛けています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人、家族の思いを聞き、介護支援専門員とケア担当が中心になって会議などで話し合い作成しています。小さな問題点でも取り上げ、本人のQOLの向上に努めています。	○	ケア担当のモニタリングをもとに介護支援専門員作成の介護計画を会議で話し合いながらQOLの向上に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	本人の状態に変化があった場合、速やかに本人、家族、スタッフの意見を聞きながら見直し適切な介護計画を作成するよう努力しています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録用紙に状態の変化を記載し、同時にケアプランの実施状況についても記載しています。精神的な変化があるときはセンター方式D-4シートを用いたりして見直しを行っています。	○	記録だけでは記入漏れなど伝わりきらない場合もあるのでスタッフ間の申し送りや情報交換も大事にしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	状況に合わせて通院や外出を支援したり、家族との外出、外泊も支援しています。最近では、お墓参りや孫の結婚式の出席などに参加されました。	○	原則、家族対応の他科受診や外出は要望があればホームで対応しています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	月1回カラオケの日と称して地域ボランティアの方をお願いしています。また、年2回防災訓練を設け、町内会長さんをはじめ、地域の方の協力して頂き、協力体制を整えています。	○	月1回のカラオケは歌が好きな入居さんが生き生きとされ好評です。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	近隣の訪問理美容サービスを利用したり、月に1回、町内の老人会に参加したりしています。	○	老人会は参加すると「よく来たね」と迎えられ良い関係が築けています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議は地域包括支援センターの職員の方に参加していただくことで、ホームでの取り組みを理解していただく機会になっています。	○	ご家族だけではなく地域の方、包括の職員の方にとってもなくてはならない集まりとなるようにしていきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	医院が併設しているので定期的な往診と週1回看護師との医療連携で健康管理に努めています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	併設している医院の医師に相談し、状況によっては提携医療機関への受診や助言をもらっています。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	併設している医院の看護師に週1回医療連携で状態を伝え、健康管理に努めています。急な体調の異変時もその都度相談できる体制になっています。	○	毎週月曜日に看護師による医療連携を行い健康の管理に努めています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関と情報交換を行い、本人、御家族、医師と相談して早期退院出来るように努めています。退院時は速やかに対応できるように心掛けています。	○	入院後はご家族が対応されていますが、医療機関と状況の確認をしたり、見舞いに行き本人の様子を見に行ったりしています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合は御家族とよく話し合い、ホームで対応できる限りの支援をさせていただくことを説明します。必要時には併設医院の医師の説明を聞き、今後の対応を御家族と再度検討します。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	年々重度化が進んでいる現状なので検討する機会を多く持っています。あくまで本人、御家族の気持ちを大切にして出来ることを明確にしています。併設医院の医師や看護師とも連携を取って準備に取り組んでいます。	○	重度化は避けて通れないことなので、その都度変化に合わせて話し合う機会を持っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>移り住むことになった場合、現在の生活が継続出来る様に生活環境や援助内容などの情報を提供しています。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>声かけは自尊心を傷つけないように配慮し、記録などは個人情報に注意して記入しています。</p>	○	<p>「トイレの声掛けを他者に聞こえるようにしない」など本人の自尊心、羞恥心を考えたケアに努めています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>判断が可能な方には自分で決めて頂いています(内容によっては御家族に相談する場合があります)。意思表示が難しい方には行動や表情から想いを読み取るようにしています。</p>	○	<p>場面によってはいくつか簡単な選択肢を出してその中から選択して頂いたりもしています。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入浴や余暇活動など無理強いせず、体調やその日の気分を尊重して本人のペースで過ごせるように支援しています。人員の少ない時間帯では希望に添えない場合もありますが、その日のうちには添えるように努めています。</p>	○	<p>外出でも本人の希望に沿えるようにしていきたいと思います。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>床屋を希望される方に近所まで歩いて散髪に行ったりしています。ほとんどの方はホームに来られる訪問理美容を利用して身だしなみやおしゃれをされています。行事の際にはお化粧をしたりもしています。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>簡単な調理や盛り付け、茶碗拭き、お盆拭きなどに一緒に参加して行っています。刻み食の方に対しても食欲をなくさせないように盛り付けに気をつけています。年に1度、管理栄養士からの栄養指導があり、見た目の他に体にいい食材などの話を聞いて参考にしています。</p>	○	<p>ホームの畑で収穫した食材を使ったり食事が楽しみになるように取り組んでいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	タバコは当医院全面禁煙のため禁止となっています。お酒はホーム内で出す機会は焼肉パーティーのみで御家族と一緒にの方は飲まれたりしています。外泊時なども特に飲酒の制限はせずに家族にお任せしています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	記録用紙に排泄時間と形状を記載して排泄パターンの把握に努めています。誘導の拒否がある方には無理強いせず、声かけに工夫して試行錯誤しています。	○	排泄の訴えのない方は定期的なトイレ誘導を行っています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	当日に本人に入浴の話をして拒否があれば中止にしたりしていますが、入浴嫌いでいつ誘っても拒否のある方には声かけを工夫して入って頂くようにしています。また、スタッフが体調の変化に気付いた場合は本人が入りたいと希望されても入らないほうがいいことを納得してもらい中止しています。	○	決して無理強いせず、あくまで本人にその日の体調を確認しながら安全を考えています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活習慣を崩さないよう日中帯に活動して夜に眠られるように努めています。昼夜逆転しないように夜間の状態を見ながら昼寝などの休息をしてもらっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の得意な事、好きな事を見つけスタッフと一緒に出来るよう努めています。近所の散歩や日向ぼっこ、土いじりや家事手伝い、歌など色々な場面で活躍できる環境を作り生きがいを感じてもらえるように支援しています。	○	個々の好きなこと、やりたいへの想いを大事にして実現出来るように努力していきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物などの外出時、可能な方は出来るだけご自分で支払いをしてもらうようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	全体の外出行事の他に「理美容に行く」、「○○を買いに行く」、「花を見に行く」など天候や体調を見ながら希望されたときに出来るだけ実現できるようにしています。	○	自分から訴えのない方へはいろいろスタッフと出掛けて本人の様子を見て好きなことを見出していくように努めています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	御家族対応では法事やスポーツ観戦、孫の結婚式への参加が実現しています。ホームでは歌の好きな入居者さんとスタッフでカラオケボックスに行ったり、買い物好きな方にはショッピングセンターに出掛けたりしています。	○	これからもご家族との外出の機会を大事にして出来る限りの支援をして実現できたらと思います。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や親戚、友人からの手紙に返事を書いたりお礼の電話を掛けるなど希望通りに応じています。携帯電話を持っている方には使い方がわからなくなったら使い方を教えて見守りしています。	○	毎年、年賀状や暑中見舞いなど書いている方もいわずと続けていけるように支援していきたいと思っています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽に立ち寄ることの出来る雰囲気になるように心掛けています。近所の方や昔の仕事仲間が訪れることもあります。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホーム会議で身体拘束になるであろうことを「してはいけないリスト」と決めて絶対に行わないように取り組んでいます。「これは拘束にあたる？」という問題点が出ればその都度話し合いの場を持つようにしています。	○	ベット柵の使用法などその都度検討して対応してます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	各居室は鍵を取り付けておりません。玄関は日中は鍵を開けっ放しで夜間のみ施錠の対応をしています。他の部署へ繋がっているドアに関しては危険なので常時施錠しています。	○	危険回避のため、他部署へはスタッフ同行させて頂いています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中は居間にスタッフがいて見守りと各居室には不定期に訪問して安否の確認をしています。夜間は1時間おきに各居室を巡回して所在と安全の確認をしています。	○	落ち着いた入居者さんは気分転換に違うユニットに行くなど内線で連絡を密に取りながら安全と安心に配慮しています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	本人の状態に合わせてですが、仕事が好きな方にははさみ、自分で爪の切ることが出来る方には爪切りといったものは必要に応じて検討して部屋に置いています。	○	活動範囲が狭くなるのですべての物品をなくすことはしていませんが、スタッフがそばに付く形で対応しています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ひやり・はつが出た際にスタッフ間で防止策を考え、防止に努めています。事故については事故報告書を作成して御家族に説明行い防止策を検討して再発の防止に努めています。誤薬は併設医院の医師に報告して指示をもらっています。週1回院内で勉強会があるので個々のスタッフのスキルアップになっていると思います。	○	ひやりはつは些細なことでも記入して検討することで色々な場面での対応能力の向上に繋がればと思います。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変時の対応は会議で定期的に取り上げて、対応をマニュアル化して対策を立てています。	○	時間が経つと忘れてしまうので定期的に講習会や勉強会を行いたいと思います。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	併設のデイケアや医院と合同の避難訓練を年2回行っています。地域ボランティアの方の協力も少しずつ得られています。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	転倒などのリスクに対し、個々の状況、それに伴うリスクを家族へ報告している。対応に関しても報告して了承を得ている(ひやりはつと、事故報告書の説明)	○	緊急性のないことはご家族の来訪時にお話をして対応についてご相談したりしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	スタッフ間は口頭、申送り表を使用し、密にしている。週に1度医療連携で看護師に報告し、急変時は併設医院の医師へ連絡して対応している。	○	スタッフ間は口頭とノートを使用したり、その都度必要に応じて伝達して知らなかったことがないように努めています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の処方箋を個々のファイルに入れてすぐ確認できるようにしている。特に副作用がある薬に関しては会議などで注意事項を確認して共通の理解を図っている。	○	薬が変わった場合は処方箋を保存し、薬が変わったことを申し送って全スタッフが周知出来るように努めています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日の水分量に気を配り、記録に残して把握できるようにしている。乳製品や食物繊維の多い食材を使ったりして自然排便が出来る様に支援しています。ラジオ体操や棒体操、散歩に日向ぼっこなどの運動での促しも行っています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	声かけで口腔ケアを行う方や全介助の方、一部介助の方がいるので状況に合わせて支援しています。義歯は夜間、入歯洗浄剤につけて殺菌。1日1回嚥下体操を行い、誤嚥性肺炎の予防に努めています。	○	定期的に歯科衛生士に来てもらい、口腔チェックを行っています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	用紙に個々の食事量、水分量を記載して把握出来るようにしています。年に1度栄養士の指導を受け栄養面のアドバイスを頂いています。往診時に定期的に血液検査を行い数値によっては医師より食事、水分量の制限の指示をもらって対応しています。	○	月2回体重測定をし、往診時に併設医院の医師に報告しています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染流行時には併設医院の医師より情報をもらい、予防に努めています。スタッフの手洗い、うがい、手すりの消毒や入居者の外出帰宅時、食事前の手洗いは年中通じて徹底して行っています。	○	インフルエンザの予防接種は入居者、スタッフ全員行っています。職員のスタンダードプリコーションも徹底しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理器具は夕食後に消毒を行っています。食材は週4回配達され、出来るだけ新鮮で安全なものを食べられるように配慮しています。	○	冷蔵庫内は夜勤中に定期的に掃除したり、消費期限を確認したり食中毒に繋がらないように配慮しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	季節に合った花を植えたりして近隣の人にとって親しみやすい環境作りをしています。毎日、ホーム周囲のゴミ拾いをして環境整備、近隣の方とのコミュニケーションを図っています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用のスペースには季節にあった花や装飾品を飾って心地よい気持ちになれるようにしています。不快な音や光が出たときには速やかに対応し、入居者には謝罪しています。業者の工事などは特に注意しています。	○	廊下に行事の写真を飾ったりして楽しかった時ことを振り返ったりできるようにしています。何度も見に来られたり喜ばれています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人ひとり好む環境に合わせて過ごして頂いています。人間関係もスタッフが介入しながら関わっていき、明らかに関係の悪い方には席の配置を変えたりして対応しています。友人が来訪されたときなどは自室で過ごされるか玄関横のソファで談笑されたりして空間を確保されています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居される段階で本人のなじみの物を持ってきていただくように家族へ伝え生活しやすい環境を作るように努めています。配置については安全面を考慮しながら本人、家族と相談の上で決めています。	○	個人の好きなもの、大事なものを自由に持ち込んでもらっています。中には仏壇をお部屋に置いている方もいます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	室内すべてに24時間換気を設置して作動させています。掃除やリネン交換の際には窓を開けて換気しています。入居者さんに確認しながら室温調節をしたり、着ている衣類の厚さを調整したりして体調の配慮をしています。	○	その日の気温に合わせて各入居者の部屋を回り、窓を開けたり、洗濯物を干して乾燥しないように気をつけています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ、廊下、階段、浴槽などに手すりをつけて出来るだけ自立出来るような環境整備にしています。エレベーターも完備しており階段の昇降の困難な方に使用できるようになっています。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>混乱や失敗が見られたときには、その原因を職員で話し合い、不安の解消に繋がるような環境作りを目指して取り組んでいます。</p>	<p>○ 馴染みの話をして意欲を引き出すようにしたり混乱を減らせるように努力しています。</p>
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関の横に小さいですが菜園で野菜を作ったり、季節に合わせた花を玄関前と中庭に植えて季節を感じてもらえるようにしています。玄関前には鳥の餌台を設置し、鳥が集まると喜ばれています。</p>	<p>○ ベンチやテーブルを購入して玄関前の空間やベランダでの過ごす時間が増えてきました。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない</p> <p>②生活歴やセンター方式を活用して理解を深める努力をしています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>①一日の中で食事中やおやつ、入浴中などには居間にいる方と職員がゆっくり会話をして過ごす時間を大事にしています。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>②出来るだけ一人ひとりのペースを考え、職員の押し付けにならないよう努めています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>①入居者さん一人ひとりが生き生きと暮らせるよう、日々関わりを持つように努めています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>②月1回は外出の機会を考えて出掛けています。個別でも買い物や散歩、カラオケなどに出掛けています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>①健康管理・医療面は併設病院の医師が定期的な往診や急変時の対応が出来るので安心して過ごせていると思います。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>①すべての入居者さんを平等に接しています。職員本位にならないように日々心がけて支援させて頂いています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない</p> <p>②気軽に話して下さる家族と訪問頻度が少なくそうでない家族があるので手紙や電話などを通して関係を深めたいと思います。</p>

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ毎日のように</li> <li>②数日に1回程度</li> <li>③たまに</li> <li>④ほとんどない</li> </ul>	①毎日、1組はご家族が訪ねて来られています。地域の方は月に数名程度ですが交流があります。
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大いに増えている</li> <li>②少しずつ増えている</li> <li>③あまり増えていない</li> <li>④全くいない</li> </ul>	①地域の方が入居されているので町内の老人会や行事への参加が増え、繋がりが拡がっています。
98	職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての職員が</li> <li>②職員の2/3くらいが</li> <li>③職員の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>	①理念を基に生きがいを持って働いていると思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>	②自分で思っていることの言えない方もいるのでまだまだだと思います。これからも努力していきます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての家族等が</li> <li>②家族等の2/3くらいが</li> <li>③家族等の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>	②定期的にアンケートや運営推進会議を通じてご意見をもらい満足していただけるとおと思いますが、これからも精進していきます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

ホームの理念にある地域との結びつきを大事により関係を深められるように日々努めていきたいと思えます。